

議第1336号

横浜国際港都建設計画都市高速鉄道の決定
相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）

■横浜市踏切安全対策実施計画

横浜市踏切安全対策実施計画 (平成28年3月策定)

対象踏切：市内167 ※箇所

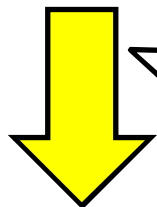
歩行者対策（8箇所）

- ・ 踏切の拡幅（歩道設置）
- ・ 跨線人道橋の整備 等

自動車対策（2箇所）

- ・ 道路の単独立体交差

総合的な対策 連続立体交差候補（5区間）

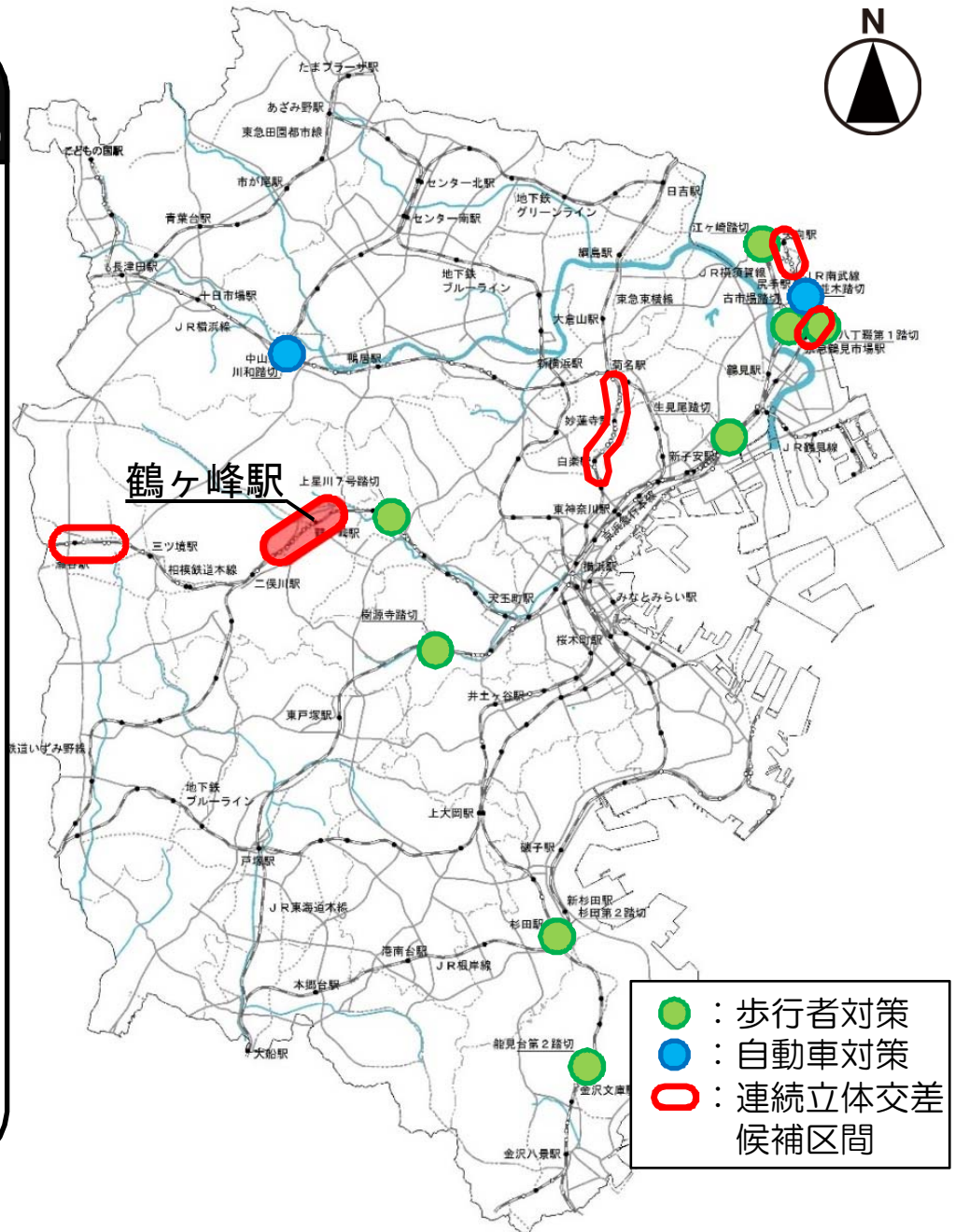


選定条件

- ・ 踏切数
- ・ 交通遮断量 等

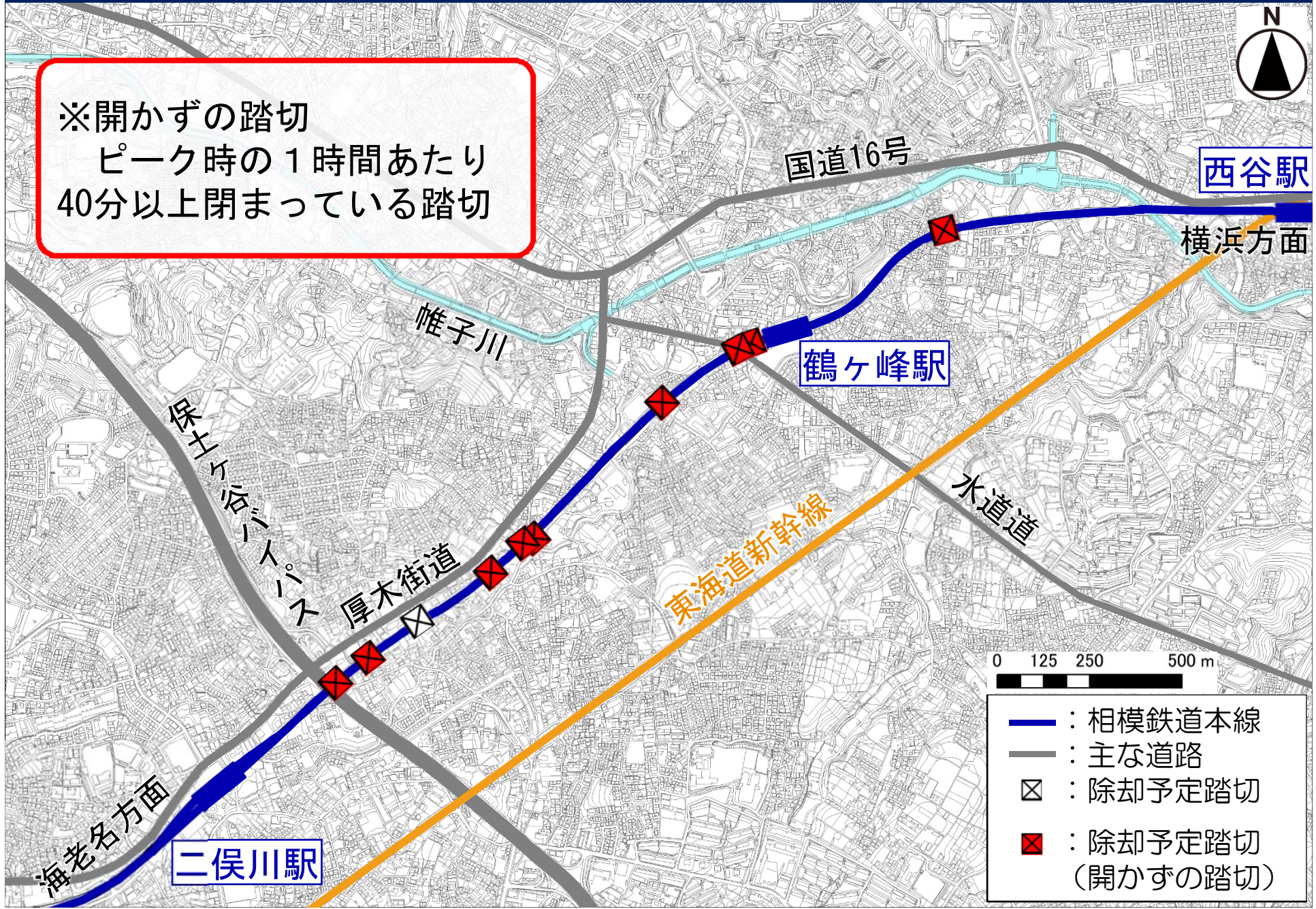
**相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）
を選定**

※平成28年3月時点



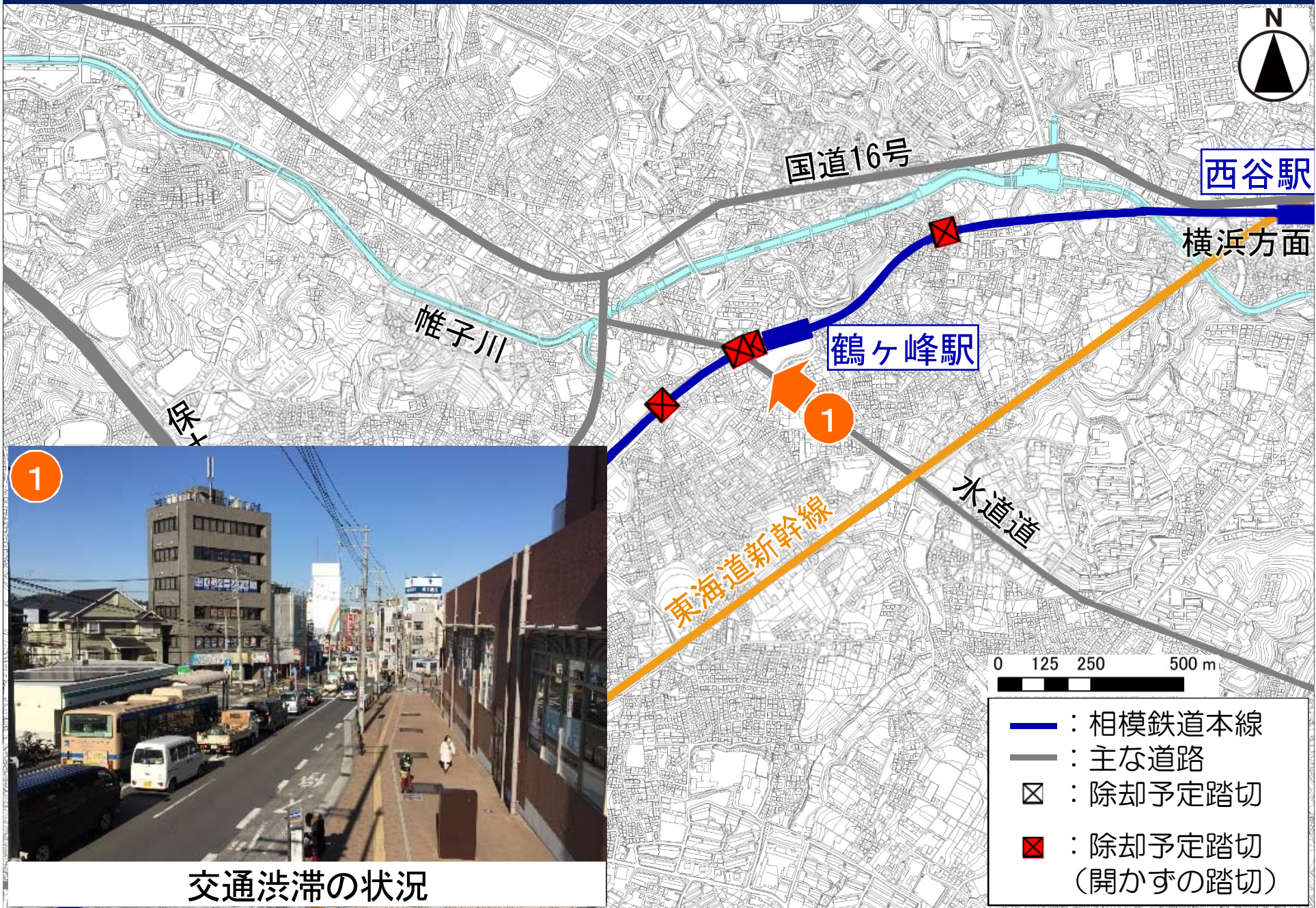
除却予定踏切

※開かずの踏切
ピーク時の1時間あたり
40分以上閉まっている踏切



■ 現況写真

4



■ 現況写真

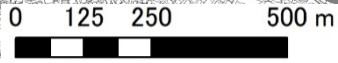


歩行者の踏切待ち状況



谷駅

方面



- : 相模鉄道本線
- : 主な道路
- ⊗ : 除却予定踏切
- ⊗ (red square) : 除却予定踏切 (開かすの踏切)

■ 現況写真



鉄道による地域の分断状況

道路と鉄道との連続立体交差化により、
10箇所踏切を除却することで、

踏切における渋滞の解消

歩行者の安全性の向上

災害時等における緊急活動の迅速化

鉄道に分断された地域の一体化



相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）を
都市計画決定します

都市計画の概要等

地上(終点側) (参考)

都市計画決定する区域

15.6m~33.9m

留置線



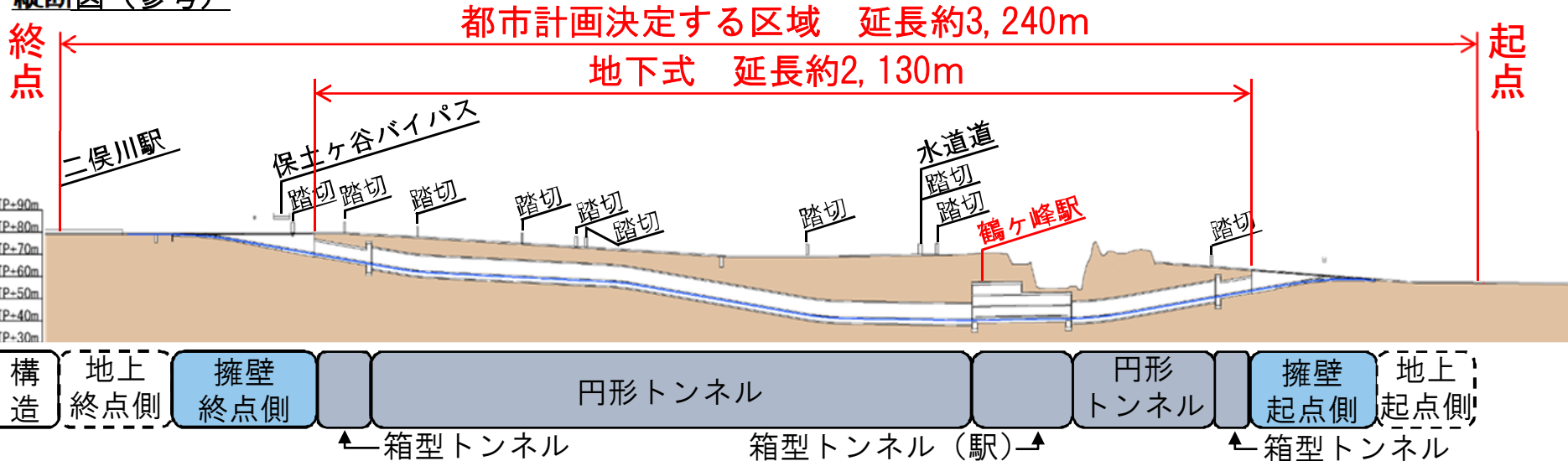
地上(起点側) (参考)

都市計画決定する区域

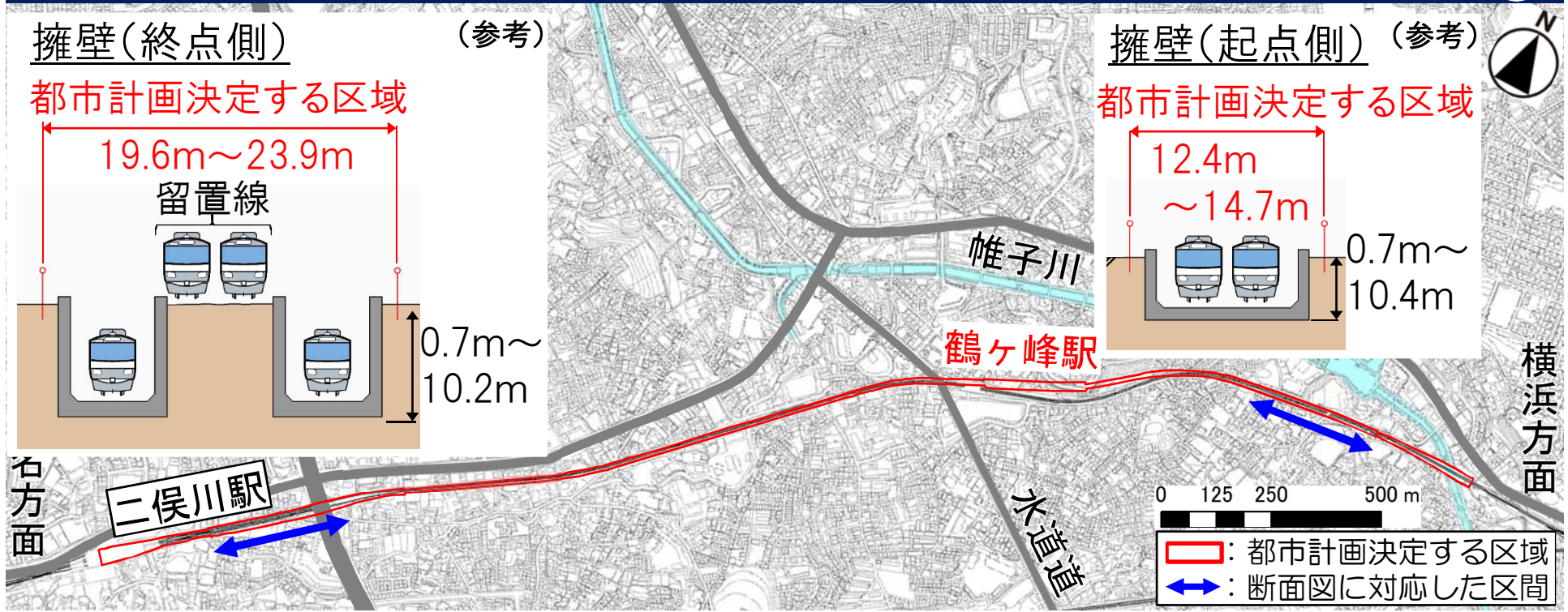
10.3m~22.0m



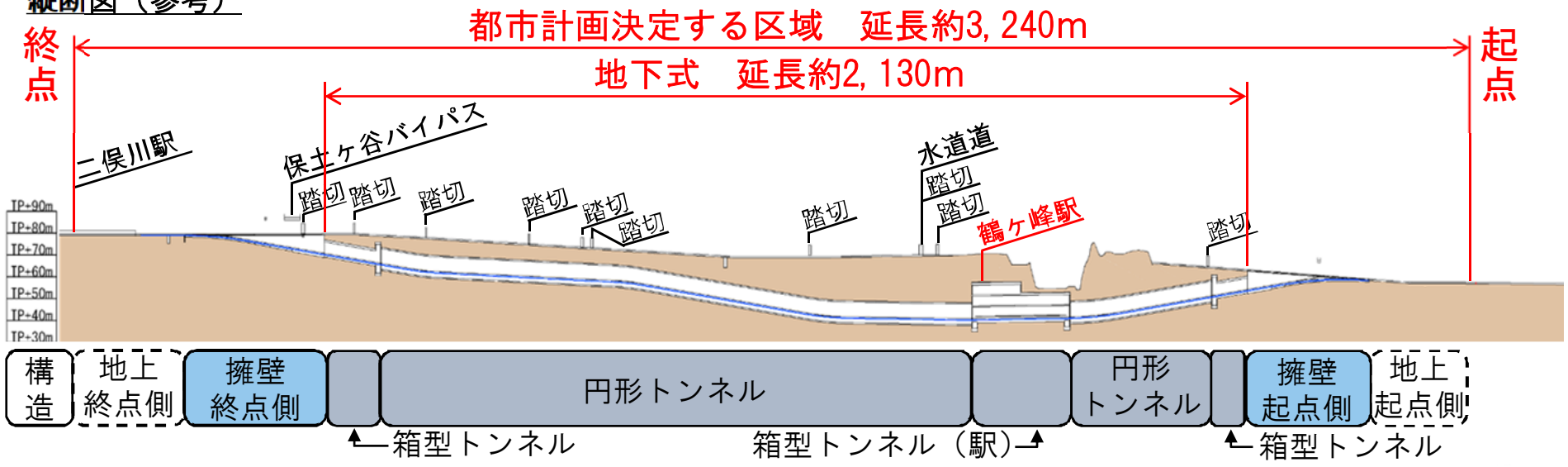
縦断面図 (参考)



都市計画の概要等

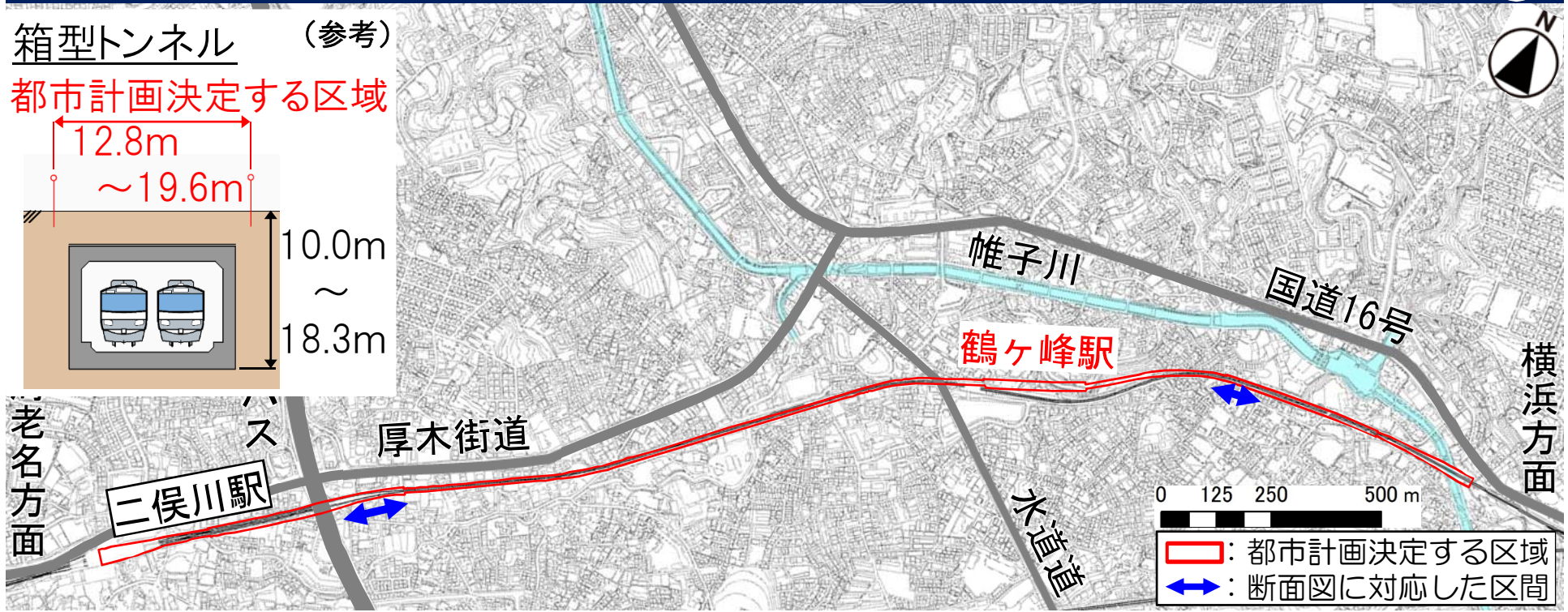
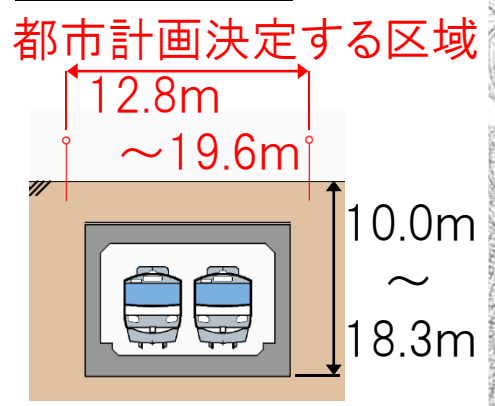


縦断面図 (参考)

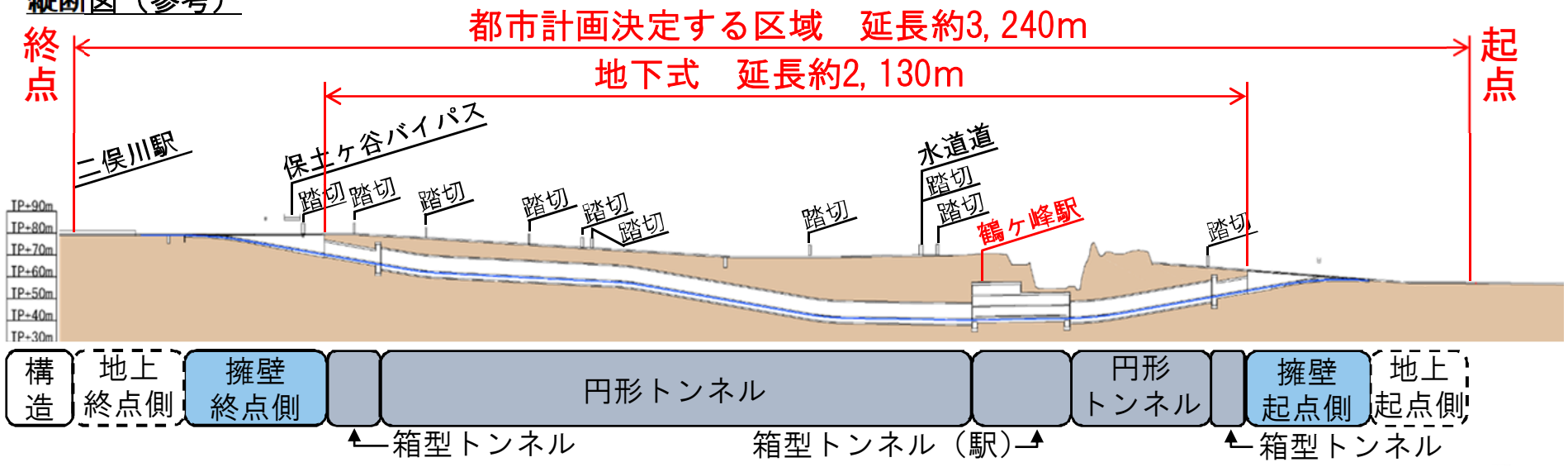


都市計画の概要等

箱型トンネル (参考)



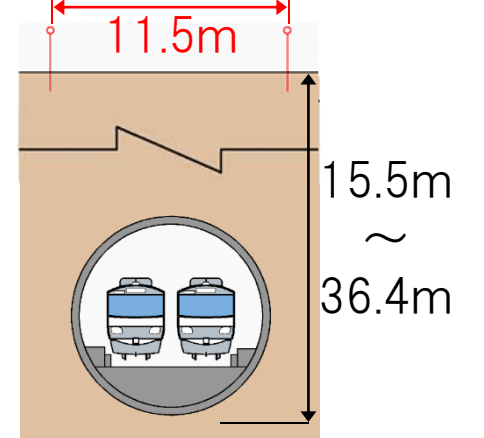
縦断面図 (参考)



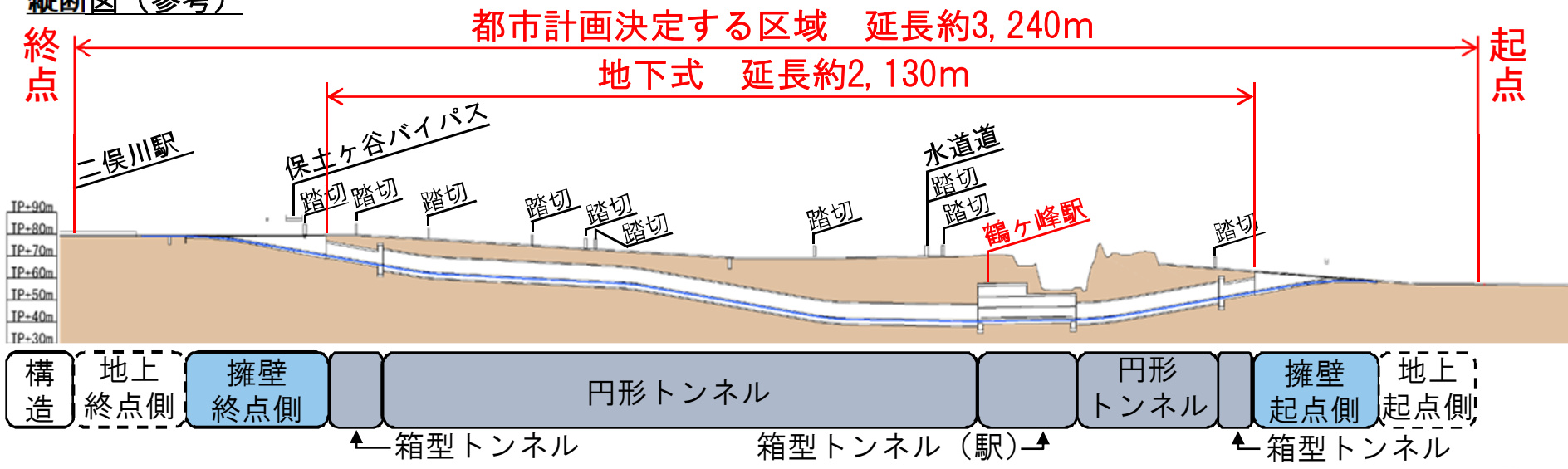
都市計画の概要等

円形トンネル (参考)

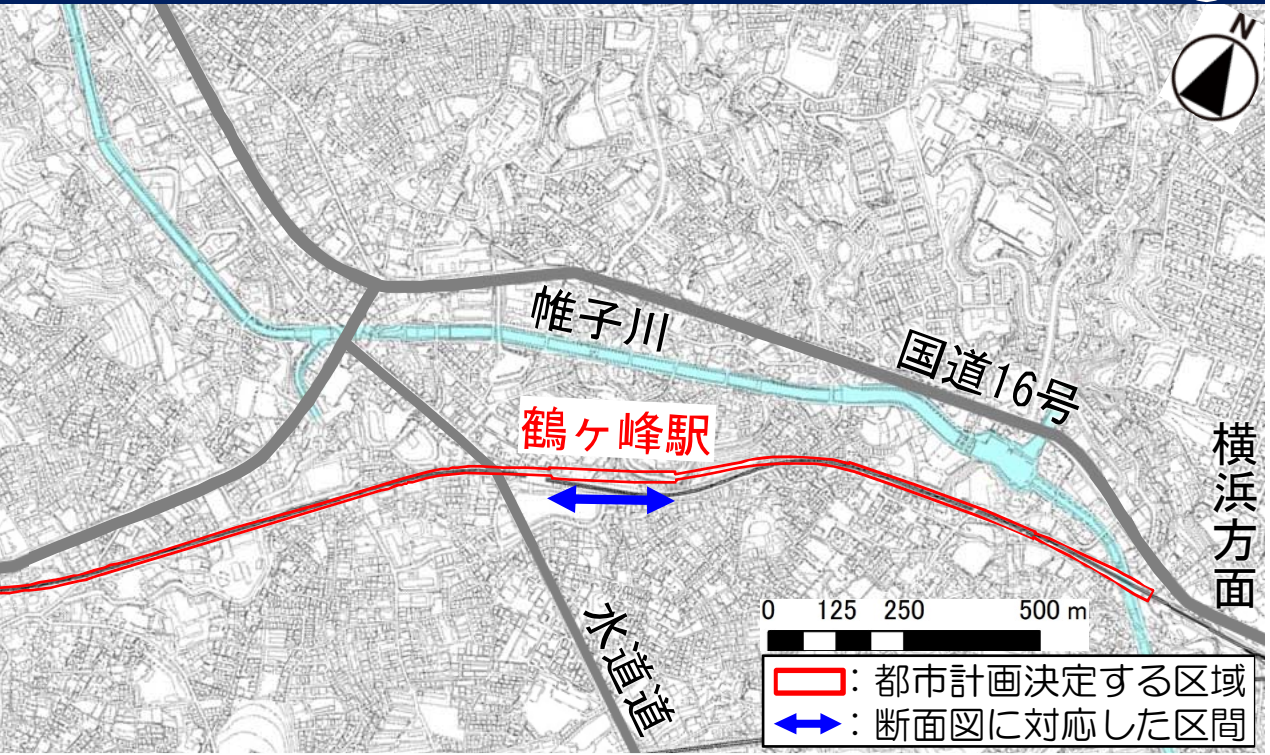
都市計画決定する区域



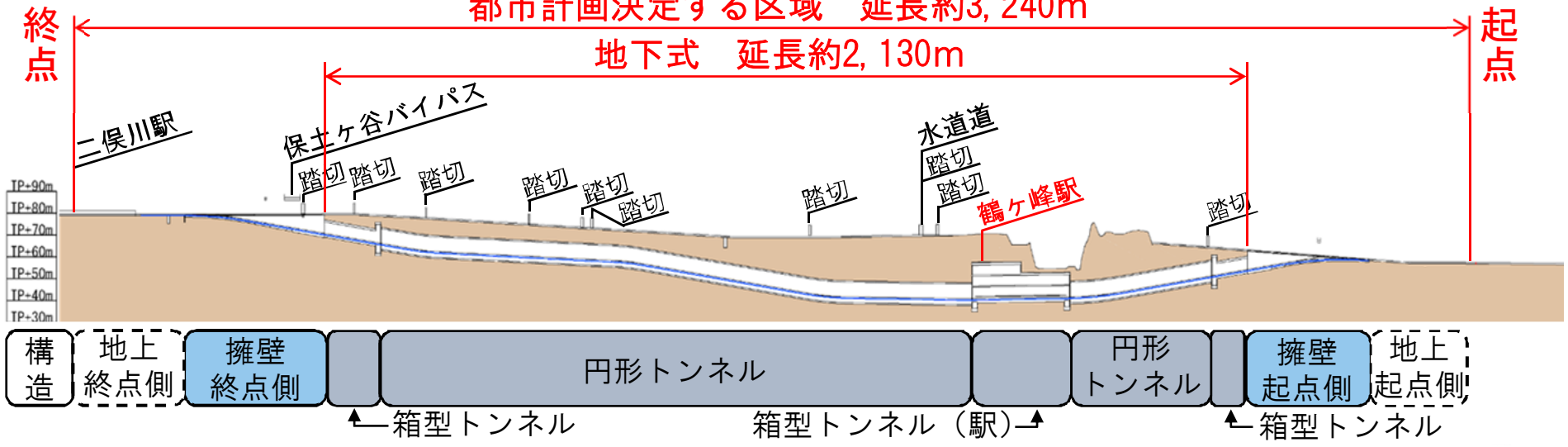
縦断図 (参考)



都市計画の概要等

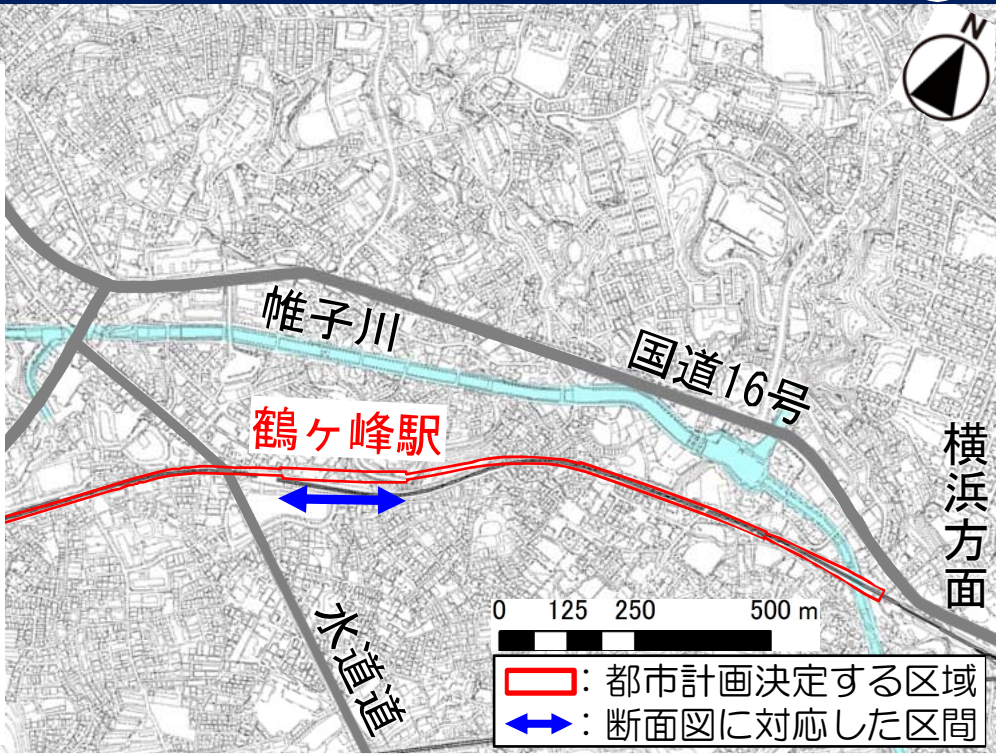
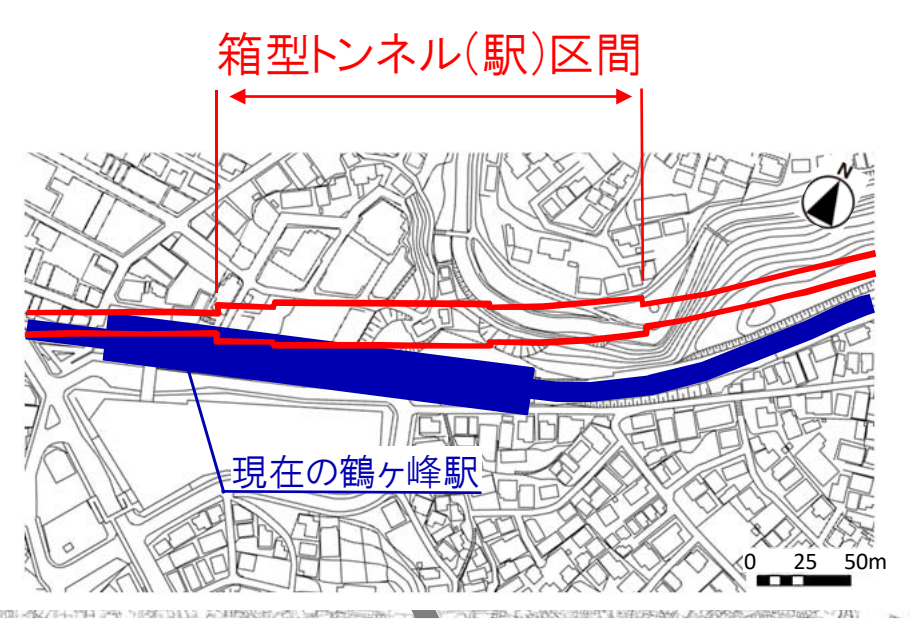


縦断面図 (参考)



都市計画の概要等

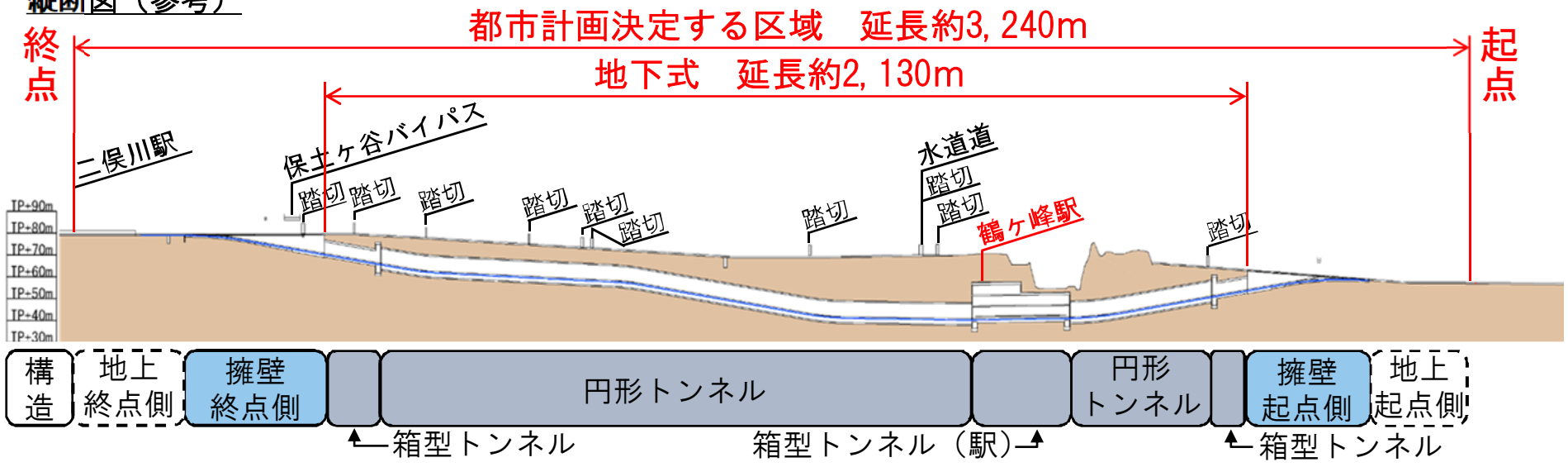
鶴ヶ峰駅付近の平面図(拡大) (参考)



横浜方面

: 都市計画決定する区域
⇔ : 断面図に対応した区間

縦断図 (参考)



都市計画の内容



路線名	相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)
起点	保土ヶ谷区西谷四丁目
終点	旭区二俣川2丁目
延長	約3,240m(うち地下式 約2,130m)
構造形式	地下式、地表式
旭区白根一丁目及び鶴ヶ峰二丁目地内に鶴ヶ峰駅を設ける。	

開催日	公述人
令和2年4月24日(金)	2名

※「公述意見の要旨と市の考え方」参照

縦覧期間	自 令和2年12月25日 至 令和3年2月8日
------	----------------------------

意見書の提出	賛成	1通	1名
	反対	0通	0名
	その他	0通	0名
	合計	1通	1名

- 駅前にイベントができる広場がほしい。
- 駅前の長年地域の皆様に親しまれてきたショッピングセンターを移転しても残してほしい。

本市では、鶴ヶ峰駅北口周辺地区において、平成31年3月に「鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想」を策定していますが、現地点で具体的なまちづくりプランは未定となっています。

引き続き、地域の皆様と意見交換を積み重ねながら、まちづくりを実現するための手法等を検討し、地域・事業者・行政の3者協働によるまちづくりを推進していきます。

※「都市計画案に対する意見書の要旨と都市計画決定権者の見解」参照

鉄道及び軌道の建設（鉄道の改良）

- ・ 1 km以上の高架化、地下化、掘割化

横浜市環境影響評価条例の対象事業

※横浜市環境影響評価条例第2条、横浜市環境影響評価条例施行規則第3条

対象事業が都市施設として都市計画に定められる場合

環境影響評価の手続を都市計画決定権者が 都市計画手続と併せて行う

※横浜市環境影響評価条例第46条

環境影響評価とは

事業が環境に及ぼす影響について、

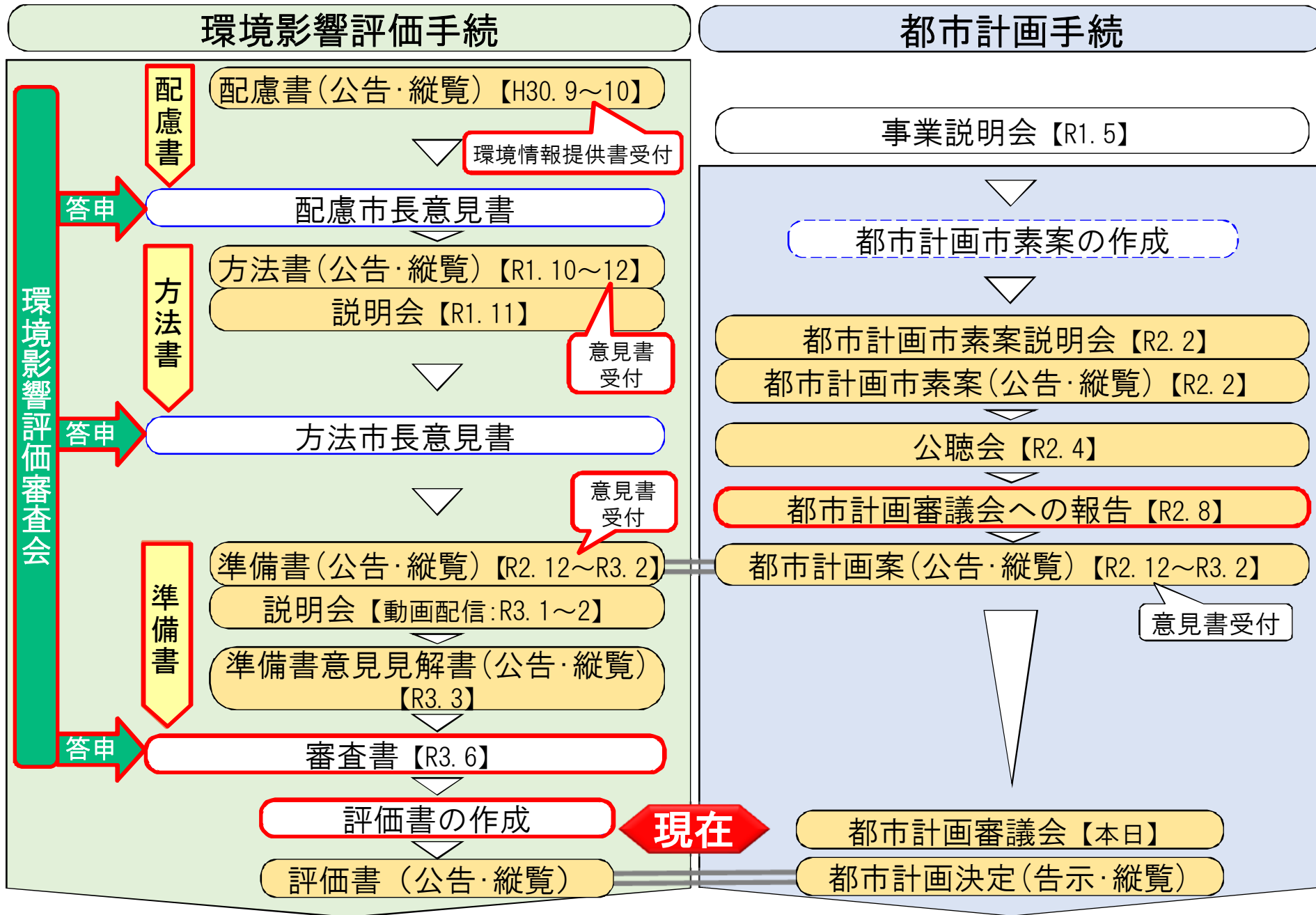
- ・ 事前に調査、予測、評価
- ・ その結果を公表
- ・ 市民の皆様等から意見を聴く
- ・ 環境影響評価審査委員会の審議及び答申を経る

適切な環境保全対策等を検討し、事業計画に反映させる制度

環境影響評価手続の流れ



環境影響評価及び都市計画手続の経緯



環境影響評価項目			
評価項目	細目	工事中	供用時
1	温室効果ガス	●	
2	生物多様性	●	●
3	水循環		
	地下水水位	●	●
	河川の形態、流量	●	
4	廃棄物・建設発生土	●	—
5	大気質	●	—
6	水質・底質	●	—
7	騒音	●	●
8	振動	●	●
9	地盤	●	●
10	安全	●	—
11	地域社会	●	—
12	景観	—	●
13	触れ合い活動の場	●	●



13項目全てについて、環境の保全のための措置を講じることにより環境保全目標が達成される評価

※「環境影響評価 評価書（概要版）」参照

